

箱根組ニュース

第282号 2016年 5月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

雨で蜂城山を断念し、フジッコワイナリーと釈迦堂遺跡博物館、天空の湯を楽しむ！

4月17日（日）、京王線新宿駅7時8分発の特急京王八王子行に乗車。北野乗換、高尾駅で8時7分発のJR中央本線甲府行きに乗り換えて勝沼ぶどう郷駅に9時10分着。

降り立ったメンバーは太田、星野（幸）、神山、川名夫妻、宗像夫人、奥村、及川、星野親子、神吉、戸丸の12名。

駅に着くと残念ながら雨がしつかり降っている。蜂城山は登りが続くので残念だが中止することにした。

下見の時に横を通ったフジッコワイナリーに電話する。あの「フジッコのお豆さん」、「昆布の佃煮」で有名なフジッコだ。なんとワイナリーもやっていたのだ。1時間ごとにワインのタンクや熟成樽等のワイン製造工程を説明してくれるというのだ。10時の回に伺うと約束したクシー3台で向かう。

ワイナリーに到着すると最初に出発したはずのタクシーがワイナリーを通り過ぎて山の方に走っていったとの事、もしや間違えて登山口に行ったのかと

心配しているとすぐに戻ってきた。なんとタクシーのドライバーが桃の花の綺麗なところをメーターを切つて、無料で見せてくれたとの事。心配したが、乗っていた方はラッキーだったかも。

さて、10時少し前にワイナリー2Fの試飲コーナーに行き、荷物を置いてしばらく待機する。13種類のワインを試飲することができると言うが、試飲は工場の説明を聞いてからということ、たくさん並んでいるボトルを眺めて回る。

10時、1階のぶどうの搬入口へ行くのだが、通常は外から入るところを雨のため工場内から入ってゆく。

実は、今はワイナリーは一番暇な時期で工場は何もやっていなくて、大きなタンクに入っているワインがあるのと、樽のワインが熟成しているだけで静かなのだそうだ。

まず、ブドウが出来る秋になるとトラックでたくさんのが搬入される。ここフジッコワイナリーでは指定の専用農園からのブドウだけを使っている



82円切手 切手残数 168枚	現在の収支 繰越収入	37765 円 0 円
	支出 印刷費 コピー代 現在高	1000 円 400 円 36365 円

は皮や種ごとタンクに入れられるらしい。いろんな説明を聞いたが気持ちには試飲コーナーに行っていた。

15トンの大きなタンクが12本ほど立っていた。一本飲むのに60年かるとか・・・？

それから隣の樽の部屋に移動する。2段になった樽がたぐさん並んでいる。樽の木は国内産ではなくヨーロッパから輸入し



らしい。搬入されたブドウは輪転機のような大きな絞り機で絞られ、白ワインは皮を取り除いてタンクに入れられ、赤ワイン



ているらしい。タンクのワインが樽に入れられ熟成される。一本の樽にボトル300本分のワインが入っているとか。

10分ほどの説明が終了し、いよいよ待望の試飲の間だ。2Fの試飲コーナーに戻る。

赤ワイン、白ワインがたくさん並んでいる。13種類をすべて飲んでみたが、私の気に入ったのはフルーティな白、それも2種類あるうちの濾過してない濁りのものだった。まるで絞ったぶどうそ

集合 5月15日(日)
京王線新宿駅 7:08発 (3番ホーム)
特急 京王八王子行 (前から3両目)
途中駅発
明大前7:13 調布7:23 府中7:29 分倍河原7:31
聖蹟桜ヶ丘7:34 高幡不動7:38
北野7:43着 (乗り換え) 7:46発 高尾山
高尾山7:56着 (乗り換え)
8:07発 JR中央本線(普通) 甲府行
勝沼ぶどう郷 9:10着

交通費 新宿～勝沼ぶどう郷 往復 2660円
別に大滝不動までのタクシー代が必要

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

●申し込みは5月13日(金)までに

5月15日(日)は甲州高尾山(1102m)です。
レギュラーコース 約5時間
勝沼ぶどう郷駅からタクシーで大滝不動尊へ。
状況によっては棚横手(1306.2m)にも登ります。

○持ち物 昼食、ポットにお湯、飲料水、非常食、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品(三角巾、包帯、痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他、山と高原地図登山装備表などを参考に。

のもののような味だ。十分堪能しお土産のワインも購入してワイナリーを後にする。

10時50分、外に出ると雨はほとんど止んでいた。わずかに残った桃の花を見ながら中央高速を渡り山側の高速沿いを進む。少し進むと左側に花がいつぱいの釈迦堂遺跡博物館に到着。中央高速を作ったときに発掘された縄文時代の土偶や大きな縄文土器などがたくさん並んでいる。驚くほど大きな土器がすごい装飾で作られており縄文時代の人々



復し終わるころには青空になり甲府方面の街並みや周囲の山々が春の景色を

の文化の高さを実感できた。

博物館の裏に広場があり立派な大きな東屋があつたのでここで昼食とすることにした。

持ち寄りの料理と大鍋では味噌汁を作った。時折吹く雨交じりの強風に悩まされたが無事昼食も済んだ。昼食中には天気も回復し終わるころには青空になり甲府方面の街並みや周囲の山々が春の景色を



見せてくれた。

1時15分、撤収して出発。博物館の前行くと「花桃畑」と看板がありきれいな花が沢山咲いていた。ここに入って花を楽しんだ。桃

のジュースや地元の農産品も置いてあったが、山椒の煮たのがビン入りであり、これが美味しかった。登るはずだった蜂城山も花の向こうに見えていた。タクシーで勝沼ぶどう郷駅前のおどろの丘にある天空の湯に移動。絶景の露天風呂と美味しいビールを楽しんで勝沼の一日は終わった。

2016年これからの予定

6月19日(日) らくだ(天ぷら山行)

7月 未定? 23日(土) 又は30(土)

8月20日、21日(土日一泊)

伊東の海ツアー

9月16日(金) ~ 19日(月)

北アルプス・白馬岳3泊4日

